

はじめに

本市は、風光明媚な瀬戸内海国立公園、讃岐山脈に連なる山々、平坦な田園地帯と多数のため池、一級河川の土器川など、素晴らしい自然に囲まれた中で市民生活を営んでまいりました。



身近にあるこれらのすばらしい環境を維持し、都市生活との調和のとれた環境を育てていくことを目指し、平成29年（2017年）3月に「丸亀市第二次環境基本計画」を策定し、環境施策を推進しているところです。

一方、近年では海洋ごみをはじめとする廃棄物の問題や生物多様性の喪失、エネルギーの安定性や安定供給、地球温暖化による気候変動など様々な課題が生じており、環境負荷の低減に向けて、更なる推進が求められております。

こうした中、本市においては令和3年（2021年）3月、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言し、地域をあげた脱炭素社会の実現に向けた取組が喫緊の課題となっております。

また、新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活や地域経済活動に大きな変化をもたらしており、新たな生活様式の実践や持続可能な社会の構築の重要性が高まっております。このような環境をとりまく社会情勢の変化等を踏まえ、これまでの計画内容を一部見直し、このたび「丸亀市第二次環境基本計画（後期計画）」を策定したところであります。

本計画に基づく、本市の望ましい環境像「自然と歴史が調和し 市民がつくる田園文化都市」の実現に向け、行政・市民・事業者等の協働によって、環境問題の解決に向けて、より一層、取組を推進してまいります。

最後になりましたが、この計画策定にあたりまして市民の皆さまや市議会をはじめ、多くの方々から貴重なご意見やご提言をいただきましたことに、心から感謝いたしますとともに、ご多忙の中、長期間にわたりご検討いただきました丸亀市環境審議会の委員の皆さまに厚くお礼を申し上げます。

令和4年3月

丸亀市長 松永 恭二